

## 国道四三一号線沿いの十王尊（地蔵堂）

東林木町の国道四三一号線沿いに、十体の地蔵尊が祀つてある十王尊の地蔵堂がある。

この十王尊堂は、町内の民家で所持されている十王尊堂だが、家族の人たちは、十王尊堂の創建や言い伝えは、何も知らないと言つておられる。

ただ、近辺の古老の話によれば、戦後、昭和二十五年頃、民家の敷地内にあつた十王尊堂が、国道四三一号敷設の為、移動を余儀なくされ、この御堂を大寺薬師の敷地内へ移設された際、民家の御主人が、ある夜に、十体のお地蔵さんが、夢の中に表れて「元の場所に帰りたい・・・」と涙を流して哀願され、そして「元の場所に帰っていたら、子どもさんたちの病気を治してさしあげます」と言われたそう。

驚いたご主人は、その朝、すぐに万福寺の和尚さん（当時の住職）に相談された結果、現在の場所に移設することを決め、早速工事を行つてだんごをお供えしてお祀りをされたそうである。

それからは、この地蔵堂は地元では「里帰り地蔵」として親しまれ、拜まれている。

また、子どもの病気回復地蔵として、この十王地蔵尊を拜むと「夜泣き・疳の虫」とか「夜尿症」「知恵熱」が治るとされ、時々、子どもを連れてお婆さんたちの姿が見られる。

